

# 北九州憲法ネットニュース

発行 九条の会・北九州憲法ネット 2007年8月29日 第25号  
 Tel & fax 591-5522  
 803-0817 北九州市小倉北区田町13番21号田町ビル3F  
 E-mail⇒mail@kitaq-kenpou.net URL⇒http://kitaq-kenpou.net/

## 第9条

戦争の放棄、戦力の不保持、交戦権の否認

日本国民は正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

② 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

## 九条の会・北九州憲法ネットの第4回総会が160名の参加で8月18日開かれました。

事務局の堀田満洲子さんが司会をし、冒頭、荒牧啓一 九条の会・北九州憲法ネット座長が挨拶を行いました。最初に記念講演が、行われました。

先ず、記念講演は「憲法九条をめぐる情勢と今後の展望」と題して行なわれました。講師は元長崎大学学長で長崎県九条の共同代表・土山秀夫さんです。

土山さんは、憲法の自民党改憲草案が出来るまでの流れや、その背後の政治的情勢の特徴などを整理して分かり易く話しました。

そして、現在の危険な改憲派の動きを批判的にまとめました。この中で、世論調査の見方に注意を呼びかけました。憲法の中味を知っている人ほど、改憲反対が多いこと、従って、啓蒙すれば改憲反対は多数になることを世論調査の数字を使いながら説明しました。

憲法九条につながる重要な事項の説明がされました。①「非核3原則」、佐藤首相が行ったこの3原則で、ノーベル平和賞までもらったが、「持ち込ませず」では、毎日新聞の西山記者が暴露した「有事の出入りは認める」密約が存在した。現在も、公然と核が日本に出入りしているのが現実。②「武器輸出3原則」、日本の財界は、この原則をやめさせたい。これを撤廃すれば、“死の商人”が跋扈して、他国から非難され、平和な日本でなくなる。③「徴兵制」、現在の自衛隊の応募も少なくなってきている。これで、本当に戦争に行くとなれば、ますます、兵隊の補充は難しくなり、徴兵制の可能性は高くなる。④「軍事機密」、軍隊が出来れば、必ず機密保持での強制力が働く。戦前の「治安維持法」も、最初は幸徳事件が発端。その後3回の改定で死刑も。

「加憲」論への警戒もよびかけます。法令・条例で出来るものを、わざわざ憲法に加えることは、側面から改憲勢力を支援することになる。撒き餌



講演する土山秀夫氏

で釣りをするとええを使って説明しました。

次に、憲法九条と世界との関係話を話しました。アメリカは、見えざる敵との戦い続ける“不安定国家”、いまや世界は”狂った世界““になろうとしている。憲法九条をなくすことは、平和理念をおろし、狂った世界に日本を導くことになると警告しました。

最後に全国で九条の会が活動し、人の血液が体内を駆け巡るように、九条の会が全国で網の目のように出来ていくことが改憲派を黙らせることになる。長崎県でも年に2回、大規模な講演会を開催し、講演会に参加できなかった人のためにリーフレットやパンフを作り講演の中味を広めている。憲法九条を守る一点で広く結集をつくるのが大切。全国統一でなく、自発的草の根の力で闘いを広げましょう。と結びました。

会場からは、大きな拍手が起き、土山氏への感謝があらわされました。その後質問の時間になり3名の方が質問し、土山氏が丁寧に答えました。

講演終了後休憩を経て、総会に入りました。

総会は、引き続き司会を堀田満洲子さんが行い、開会挨拶を荒牧啓一座長が行った後、野瀬秀洋事務局長が議案の提案をおこないました。報告と方針及び役員提案は、一括して拍手で採択されました

# 地域の「九条の会」交流会が 活発に行われました

総会終了後、九条の会交流会が行われました。先ず、4名の九条の会の代表が活動報告を行いました。

## ①憲法九条を守る折尾の会（野口さん）

年1回の総会、事務局会議は月1回（第3金）している。月1回のピラ配布宣伝（17時から折尾駅、14時からサンリブ前）署名は4382筆。ミニ学習会をしている。2ヶ月に1回程度、DVDで沖縄戦を見たりして学習会してきた。ビルマ戦に行った人の話も聞いた。ニュース（新聞）は、会賛同者130名に手渡しで配っている。

## ②憲法九条を守る八幡東区の会（安達さん）

一周年記念に、高遠菜穂子講演会を行い、400名が集まった。署名は現在1100名。街頭宣伝は第四木曜日、八幡駅前で行っている。事務局体制の改善、編集会議の改善など、今後早急な改善をしなければならない。

## ③小倉南区西部地区九条の会（清水さん）

102回のハンドマイク宣伝を地域でした。9の日行動もした。最近では「ピースウォーク宣伝」が評判が良い。唱和しながら歩く。子供たちが面白がってついてくる。8月29日もやる。

北九州憲法ネットの企画行事には積極的に参加してきた。今回は27名、多い時は50名が参加する。若干の補助をする（会費を取っているから）。会員の拡大が進まないのが課題（現在110名）。

## ④わかまつ九条の会（小野さん）

04年11月3日に結成した。玉井さんら若松の著名人12名の呼びかけで立ち上げた。総会は120名が参加。05年には一周年企画で池田加代子さんと呼んで講演会をした。毎月9の日は宣伝している。3月から29日の宣伝もしている。今まで52回の宣伝。1回の宣伝には4~6名で行っている。11時から1時間で200枚程度のチラシがはける。ようやく、市民に認知されてきたようだ。話しかけてくる人も出てくる。現在3029筆の署名がある。会員は313名。会報を出しているが、もっと体制をつくる必要がある。出来るだけ、飲む会を作っている。人間魚雷「回天」に乗っていた人を招いて話を聞いたことも。

次に、会場内から6人の方が発言しました。

## ⑤どうすれば、改憲反対の声を上げられるか？

啓蒙の仕方に工夫がいると思う。ピラや集会も良いが、あまり効率は上がらない。発言にあった「ピースウォーク」はよい案だ。テレビ利用、座り込み、鹿児島まで歩くなど……。

⑥教職員九条の会。学校では、平和授業をしているところとそうでないところでは、子どもたちの戦争に対する考えが違ってきている。説明をしていかないと、将来が心配になる状態。九条の会として、黒崎駅前18時30分から行っている。チラシ450枚ぐらいはける。チラシの折り方に工夫したら、とってくれる人が増えた。読ませる工夫が必要。地域に九条の会の連絡を取り、統一宣伝の日を作るなどの工夫すれば、時間が取りにくい教員でも、宣伝に参加できる。

⑦門司九条の会。9の日宣伝・署名を続けている。

る。北九ネットでもやってみようか。

⑧山手九条の会（準備会）。小倉南区山手九条の会を結成しようと、昨年9月9日午後9時に乾杯する企画をした。小さなまとまりで、九条の話をするなど地道な運動が必要。大分の新聞に意見広告が25年目を迎える記事を見て驚いた。九条の条文をいれて、3000人の方が名前（別に名前を出さない700名の方も）が出ていた。北九でもしてみようか。

⑨青い空九条の会。「北九州青い空合唱団九条の会」が正式名称。

⑩横代九条の会（準備会）。気軽に署名を集めている。パンフや新聞に載っている著名な方の九条をまもる発言の文章を切り抜き、相手に見せると、署名にに応じてくれる。自分も、かつては「菊兵团」にいた。この体験を文章にしている。

最後に、野瀬秀洋事務局長がまとめの発言をしました。

「各九条の会の意見の特徴は、事務局・編集部体制をとることが大切だと思った。また、活動スタイルにもっと工夫がいること、ピースウォークや、チラシの作り方の工夫など、発想を変えて宣伝に取り組みましょう。9・9の全国統一行動には、積極的に参加しましょう。新聞への意見広告については、憲法ネットの機関会議で検討させていただきます」

## 21人の方から感想文をいただきました。全文を紹介します。

- 土山さんのお話は大変分かり易く、感銘をうけました。いつまでもお元気でいて下さい。(40代女)
- 非核3原則でノーベル賞をもらった故佐藤首相の賞を取り下げべきだと思っていたが、先生も同じ考えでいられて少し安心したが、ノーベル賞の取り消しは出来ないのでしょうか。美しい言葉を並べる政治家などは信用できない事、日本の首相はその様な人が多かった。国民はどうして簡単にだまされるのか？物の見方、考え方をもっと勉強すべきと思う。地域の「九条の会」の進め方が難しい。(取り組み方も)(60代男)
- 土山先生のお話は、大変整理されて分かりやすかったです。(40代女)
- 終末の時間、一人ひとりの人達の意見発表がとても参考になり感動いたしました。ありがとうございました。(61歳男)
- 1時間が短すぎたのでは、講師はよくまとめて分かり易く話していただいた。
- 人数が少なかったのが残念でした。先生が言われたように“話の内容を、参加できない多くの人に伝えること”が大切では・・・HPや会報で。
- 憲法を知らない人が、憲法を変えたほうがいいと言っている様に、私たちは憲法とは何か、憲法九条をえようとしている背景には何があるかを知る必要があり、国民の中に広げていくことが求められていると思います。(66歳男)
- 理論的に深い洞察力で、テーマに沿って講演され、感動した。国民に広く憲法を知らせていく我々の運動の大切さを痛感した。(60代男)
- 加憲論の問題点などわかった。憲法をもっと勉強しなければいけないとわかった。(30代男)
- 初めて、こういう会に参加しましたが、あまりにも、このような大切な講演を聴きに來られる方の少なさにびっくりしました。とても力が弱いように思います。もっと多くの人を結集するためには、何とかしないとイケないのではないのでしょうか。(60代女)
- さすが、7人委員会のメンバーとは素晴らしい人達です。大学の学長までされた人が、何と謙虚な人柄か。話の内容、しゃべり方、スピードなどで、本当にわかりやすかった。毎年、立派な講師を揃える実行委員会にも感謝します。(67歳男)
- 土山先生の話が素晴らしく、はっきりしてきました。(66歳男)
- 土山先生のお話で、①あらゆる団体・個人と「九条を守る」の一致点を大切にしながら協同することが大切であるということ②講演会などの中味を、パンフなどの文書にして広く普及することが大切だといわれた事、これらは、北九州憲法ネットとしても大いに参考にしたらいいと思います。
- 自民党の憲法調査会の狙いがはっきりした。国民が理論武装をして、しっかり動きを見極めることが大事だと思いました。(60代女)
- 九条を守るという一点に限って活動することが継続の力だと言われたことに共感しました。私自身を理論武装していきたいと思っています。(60代女)



## かんぱのお願い

「九条の会・北九州憲法ネット」は会費をとらず、皆さんからのカンパのみで運営しています。毎月一回「北九州憲法ニュース」を発行し、また時々の憲法講演会の案内チラシを作成していますが、ニュース、チラシ等の印刷費や郵送料の捻出に四苦八苦しています。皆様からのカンパを是非お願い致します。カンパにご協力いただける方は下記の郵便振替口座までお願い致します。

振替番号 : 01700-8-115768

名義 : 「九条の会・北九州憲法ネット」

カンパ、メッセージありがとうございました。  
引き続き皆様のご支援をお願いします。

カンパ 7月 水上建二郎 鋤塚聡子 森田禮三 野瀬秀洋 水上平吉 藤川勝正 玉井史太郎 山口実子 有馬和子 松本昭文 宮崎信行 尾崎英弥 吉本まさ江 大重幸彦 上西創造 中西寿子 織田博吉 高見淑子 酒見辰正 河村智恵子 須崎和幸 カンパ 8月 丹下徹 小林寛子 八記博春 島内弥七 秀南隆男 秀南ひとみ 桑田勲 二 吉田英子 多加喜悦男 西アユ子 野瀬秀洋 山口律子

### メッセージ

●九条を子どもたちのために残すことがおとなのつとめだと思います。7/18 KS ●募金 7/18 MR ●資料代として 7/19 FK ●「反共は戦争前夜」の声響き蝮川虎三今日を輝く——反共思想こそ資本主義の支柱です。7/20 T.F ●いつもニュースありがとうございます。切手代として少額ですがカンパします。私は戸畑9条の会に所属しています。また「憲法改悪に反対する会」としても月一回の憲法学習会を開いています。7/23 MA ●ニュースの発行で、各地域の九条の会の様子がよくわかります。資料も活動に大変役立っています。ありがとうございます。暑くなりますのでお体に気をつけてください。7/23 AK ●日程が合わずになかなか講演等には参加できませんが私も学習会等は開催しています。7/23 Y.J ●いつもカンパに応じられず恐縮しています。7/24 O.S ●カンパ代 7/24 O.H ●がんばりましょう。7/25 N.J

## 《護憲コラム》 「沖縄密約」

8月19日、「沖縄密約」という講演があった。元毎日新聞の記者西山太吉氏が講師。西山氏は、今年76歳、今から35年前に、沖縄施政権返還をめぐる密約を取材。そのことが、外務省女性事務官との機密漏えい事件での起訴となり逮捕・有罪となる▼この日、西山氏は、沖縄返還前後の政治情勢から説き起こした。時の佐藤首相にとって、沖縄返還を実現させることが、最大最後の政治課題であり、このことをアメリカに利用され、様々な密約を結ばされる事情を説明した。国民の説明には「非核3原則」「核抜き本土並み」返還だったはずが、実際は、密約により「緊急時には核存在」「日本の沖縄化」とされ、これ以降、日本全土で、米軍が自由に、イラクまでも出撃できる状況を作らせる原因となった。沖縄返還に伴う米軍基地移転費用の日本の負担の強要、また、現在行われている”思いやり予算“への日本の米軍への経費支出も、このときの密約が発端となり、今では、アメリカの国内に米軍の基地をつくることまでも、日本の税金を使うというところまで来ている。西山氏は、現在の「米軍再編」は「日米軍再編」であり、いかに危険な水準に日本が来ているのか警鐘をならす▼西山氏は「憲法改正反対というが、憲法は実質改悪されている」という。それほど、日本の政治は、犯されているというのだろう。しかし、憲法九条があり、25条が生きており、国民主権の規定が活着しているいま、これが邪魔だから改憲派は躍起となっているのだ。憲法を守り、発展させることが、「沖縄密約」を暴き、撤回させる大道ではないのか。(太郎)

